

# 横須賀共済病院で2016年11月から2023年10月までに進展型小細胞肺癌の確定診断を受け、一次治療として化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法を施行された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	進展型小細胞肺癌に対する薬物療法の後方視的検討
当院の診療科・研究責任者	呼吸器内科 坂下博之
他の研究機関	自治医科大学、仙台厚生病院(主施設) 自治松坂市民病院、日本赤十字社 長岡赤十字病院
本研究の目的	進展型小細胞肺癌に対する一次治療における標準治療（化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法）の臨床効果について、多施設共同研究として後方視的に比較する事を目的としています。 また一次治療の経過を考慮した上で、一次治療終了後の二次治療の臨床効果についても検討します。
研究期間	倫理審査委員会承認後から2024年12月（※本研究は仙台厚生病院 倫理委員会の承認を受け実施するものです）
研究の方法（対象となる方）	2016年11月から2023年10月までに進展型小細胞肺癌の確定診断を受け、一次治療として化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法を施行された症例を対象とします（すでに試験期間を終了しているImpower133試験参加者も対象者とする）。
研究の方法（利用する情報）	年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、パフォーマンスステータス、診断日、臨床病期、既往歴および併存症、併用薬、小細胞肺癌に対する治療歴、確定診断日、治療開始前の採血データ（白血球数、好中球数、リンパ球数、好酸球数、赤血球数、血小板数、アルブミン、ALP（IFCC法）、クレアチニン、尿素窒素、CRP、LDH、Na、K）、各薬物の投与回数、画像による腫瘍評価の結果（最良総合効果、無増悪生存期間など）、生存期間、治療関連有害事象など、研究に必要な診療情報を利用致します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 呼吸器内科/化学療法科 医師 坂下博之
備考	